

危険物新聞

第 5 6 8 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集人 宮 崎 正 也
発行人

大阪市西区新町 1 丁目 5 番 7 号
四つ橋ビル

TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円

第 1 回 危険物取扱者試験

6月3日(日)と24日(日)、近大で

財消防試験研究センター大阪府支部では、平成13年度第1回危険物取扱者試験を6月3日(日)と24日(日)の2日間にわたって、東大阪市内の近畿大学で次のとおり実施します。

試験日	6月3日(日)及び6月24日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	近畿大学(東大阪市)
願書受付日	5月7日(月)、5月8日(火)、5月9日(水)
願書受付場所	財消防試験研究センター大阪府支部 大阪市中央区谷町2-2-22、NSビル9F TEL06-6941-8430

※試験当日の会場集合時間は

- ・午前は9時30分(試験開始は10時から)です。
- ・午後は1時(試験開始は1時30分から)です。

なお、平成13年度第1回危険物取扱者試験を2日間(6月3日及び24日)で実施するのは、本年度に限る措置とのことです。

受験準備講習会の受付

4月23日より開始

受験準備講習会の受付は、4月23日(月)の岸和田会場を皮切りに5月8日(火)の大阪(当協会事務所)会場まで府下8会場で実施します。

また、受験準備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について大阪、堺、泉大津、茨木、守口など府下11会場で実施します。(詳細については8頁参照。)

乙4(土・日コース)は電話予約で

乙種4類の土曜コース(定員140名)・日曜コース(定員140名)については、希望者が多数のため、電話予約による受付を行なっています。

受講希望者は、電話(06-6531-9717)で予約して下さい。(ただし、満席になり次第締切り。)

危険物安全週間推進標語

“危険物

めざすゴールは

無災害”

時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー

SUPER GYRO LADDER ACT

先端屈折はしご車 MLJS4-30
高所等での消火・救助活動をサポートする
先端のはしごが屈折する両側面のはしご車



SUPER GYRO LADDER WT

水路付はしご車 MLGS4-30W
高所等での消火活動に威力を発揮する
大容量放水の水路付はしご車



MURITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22



大型化学車
MC-BC



省力化合格機種

泡原液搬送車

〒544-8585 大阪市東淀川区小浜東5丁目5番20号
Tel.06-6756-0110 Fax.06-6754-3461
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 松山

株式会社モリタ

平成13年度 保安講習 6月下旬より開催

保安講習の制度について

この講習は、消防法第13条の23に定められた、いわゆる法定講習です。

危険物製造所等（化学工場、油槽所、塗料販売店、ガソリンスタンド、タンクローリー等の危険物施設）で危険物の取扱いに従事している危険物取扱者（危険物保安監督者も含む）は、定められた期間内に受講しなければならないことになっています。

定められた受講期限は、原則として危険物の取扱いに従事した日から、1年以内（ただし、免状を取得した日、または前回講習会を受講した日から3年以内）となっています。（規則第58条の14）

また、受講義務者が、受講期限内に受講しないときは、消防法違反となり、免状の返納を命じられることがあります。

なお、大阪府下における講習は、13年6月下旬から14年2月中旬にかけて、次の5業種区分に分けて開催するので、原則として区分別講習を受講して下さい。

- ① 化学工場関係の部
- ② コンビナート関係の部
- ③ 給油取扱所関係の部
- ④ タンクローリーの部
- ⑤ 一般の部

関係書類は4月下旬頃配布の予定

受講手続の要領について

- ① 予約申込書（所定の往復ハガキ：府下各消防本部子防課又は消防署予防係で配布、ただし出張所には置いてないことがあります。）に、希望する会場等を記入して、郵送して下さい。

なお、1事業所において、受講者が複数の場合は、封筒で一括して送付。その場合は、返信用角封筒（切手貼付）を同封して下さい。

- ② 後日、受講申請日、申請場所、講習日等を指定して、返信ハガキ（申請書）で通知。（通知は、おおむね受講日の3週間くらい前に郵送の予定）

- ③ 指定された申請日に、申請場所で、申請書（返信ハガキ裏面）に受講手数料（4,700円の大阪府証紙：申請場所で発売）を貼付して、申請して下さい。

申請手続きを終了すると、受講券及びテキストを交付します。

- ④ 申請受付後は、いかなる理由があっても手数料及び提出書類は一切お返しいたしません。

受講について

- ① 講習当日、本人が受講券・テキスト及び免状を持参し、所定の講習を受講して下さい。
- ② 受講終了者には、免状に受講済印を押印し交付。
- ③ 講習時間は3時間。
（開講時間は、講習会場により若干異なる）

問合せ先

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7(四ツ橋ビル)
大阪府危険物安全協会 TEL06-6531-9717

受講手続きの流れ

所定の往復ハガキで受講日（第1～4希望日まで）を記入の上、郵送する。



申込手続きの日時・場所の通知及び受講日の決定通知の返信ハガキが返送される。



返信ハガキを持って、通知のあった日時・場所で受講申請の手続きをします。

（手数料の証紙4,700円は申請会場で販売します。）

手続終了の際、受講票とテキストをお渡します。



講習日に受講票・テキスト・免状・筆記用具を持って受講します。

講習終了後、免状に受講済の大阪府知事証印を押印します。

◇平成13年度 保安講習日程表 (13年 6 月26日～14年 2 月18日) ◇

◇一般の部			
回数	開催日時(予定)	会 場	所在地又は最寄駅
1	6月26日(火)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
2	6月27日(水)午後	吹田メイシアター	阪急・千里線・吹田駅
4	7月3日(火)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
5	7月5日(木)午前	*堺市民会館	南海・高野線・堺東駅
7	7月6日(金)午後	泉大津市民会館	南海・本線・泉大津駅
10	7月12日(水)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
11	7月13日(金)午後	*堺市民会館	南海・高野線・堺東駅
12	7月18日(水)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
14	7月23日(月)午後	貝塚市民福祉センター	南海・本線・貝塚駅
17	7月26日(木)午後	泉佐野市消防本部	南海・JR・りんくうタウン駅
18	7月27日(金)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
21	9月10日(月)午前	豊中市消防本部	阪急・宝塚線・豊中駅
22	9月10日(月)午後	豊中市消防本部	〃
23	9月14日(金)午前	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
25	9月17日(月)午後	和泉市立解放総合センター	JR・阪和線・信太山駅
26	9月21日(金)午後	松原市消防本部	近鉄・南大阪線・河内松原駅
31	10月9日(火)午後	八尾市消防本部	八尾市高美町5-7
41	10月19日(金)午後	守口門真商工会議所	京阪・門真市駅
42	10月22日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
44	10月25日(木)午前	北河内府民センター	京阪・枚方市駅
45	10月25日(木)午後	北河内府民センター	〃
47	10月29日(月)午前	高槻市消防本部	JR・阪急・高槻駅
48	10月29日(月)午後	高槻市消防本部	〃
49	10月30日(火)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
50	11月8日(木)午後	柏羽藤消防本部	藤井寺市青山3-613-8
51	11月20日(火)午後	富田林市民会館	近鉄・南大阪線・志志駅
52	11月26日(月)午後	大東市消防本部	JR・片町線・住道駅
53	11月30日(金)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
54	12月4日(火)午後	大阪府商工会館	〃
55	12月5日(水)午後	吹田メイシアター	阪急・千里線・吹田駅
56	2月7日(木)午後	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅
57	2月8日(金)午後	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅

◇一般の部			
回数	開催日時(予定)	会 場	所在地又は最寄駅
58	2月12日(火)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
59	2月13日(水)午後	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅
60	2月15日(金)午後	*堺市民会館	南海・高野線・堺東駅
61	2月18日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町

◇化学工場関係の部			
回数	開催日時(予定)	会 場	所在地又は最寄駅
8	7月11日(水)午前	大阪府商工会館	地下鉄・本町
16	7月25日(水)午後	大阪府商工会館	〃

◇大阪北港コンビナート関係の部			
回数	開催日時(予定)	会 場	所在地又は最寄駅
35	10月12日(金)午後	住友金属工業(株)	JR・桜島線・安治川口駅
39	10月17日(水)午後	住友金属工業(株)	〃

◇給油取扱所関係の部			
回数	開催日時(予定)	会 場	所在地又は最寄駅
6	7月5日(木)午後	*堺市民会館	南海・高野線・堺東駅
9	7月11日(水)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
13	7月19日(木)午後	大阪府商工会館	〃
15	7月24日(火)午後	*岸和田競輪場	南海・本線・春木駅
19	7月30日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町
24	9月14日(金)午後	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
43	10月24日(水)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町

◇タンクローリー関係の部			
回数	開催日時(予定)	会 場	所在地又は最寄駅
20	9月8日(土)午前	大阪府トラック総合会館	JR・環状線・京橋駅
27	9月22日(土)午後	大阪府トラック総合会館	〃
34	10月11日(水)夜	*臨海センタービル	堺市石津西町7
38	10月16日(月)夜	*臨海センタービル	〃

注1. 保安講習の講義時間は3時間です。

(開講時間は、講習会場によって若干異なります)

注2. 会場欄中*印の会場は駐車可。(ただし、堺市民会館は有料)

全国危険物安全週間 推進標語決まる!

毎年6月の第2週(日曜日から土曜日までの1週間)、全国危険物安全週間が行なわれます。

平成13年度は、6月3日(日)から6月9日(土)まで実施され、(財)全国危険物安全協会では、6月4日、全国危険物安全大会を、また、危険物施設安全推進講演会を5日東京会場、7日大阪会場で開催する予定です。

消防庁並びに(財)全国危険物安全協会では、この安全週間を推進していくにあたり、標語を募集していましたが、3,503点の応募作品の中から最優秀作1点、優秀作1点、優良作10点の計12作品が選出されました。そ

のうち、大阪府下より優秀作1点と優良作2点が入選されています。

- ・最優秀作(三重県久居市:朝井俊秋氏)
「危険物 めざすゴールは 無災害」
- ・優秀作(大阪府岸和田市:藪内成氏)
「毎日が 無事故でターン 危険物」
- ・優秀作(大阪府池田市:芹川修氏)
「点検は 安全さざむ ストローク」

また、大阪府では6月を危険物安全月間と定め、本協会共催、府下消防長会協賛のもと、6月15日KKRホテルオオサカにおいて大阪府危険物安全大会を実施します。

危険物規制の動向

“ローリーの標識サイズ変更 0.3m平方以上、0.4m平方以下に”

危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令(平成13年総務省令第45号)が、公布され、平成13年5月1日から施行されることとなりました。

今般の危険物の規制に関する規則の一部改正は、移動タンク貯蔵所、給油取扱所に係る技術基準等に関して、所要の改正を行ったものです。

消防庁では、この改正に伴ない「危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令の施行について」消防危第41号、平成13年3月30日付)を発令しました。

その要旨は次のとおりです。

記

第1 タンクの内容積の計算方法に関する事項

タンクの内容積の計算方法について、容易にその内容積を計算し難いタンク(通常の計算方法(体積を求めるために用いられる一般的公式)のみでは計算が困難なものをいう。)にあつては、当該タンクの内容積の近似計算によることとし、それ以外のタンクにあつては、通常の計算方法によるものとする(規則第2条)

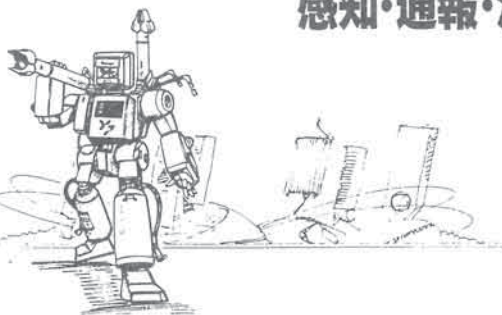
第2 移動タンク貯蔵所に関する事項

1. 移動タンク貯蔵所の車両に掲げることとされている標識の大きさを0.3m平方以上、0.4m平方以下とすること(規則第17条第2項)。
2. 積載式移動タンク貯蔵所の移動貯蔵タンクが国際海事機関が採択した危険物の運送に関する規程に定める基準に適合する場合にあつては、一定の構造及び設備の技術上の基準を不適用とすること(規則24



防災設備は、さまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。
検査防災アンカーシステム(ローリー)は、感知・知らせ・消す機能を、安全確保のベースとして、コンピュータシステムで、目的に沿った防災機器の研究開発をおこない、完成させています。

防災による快適環境づくりのローリーは、セキュリティシステムです。



アマトスロテック株式会社

本社 千537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)6976-0701代 東京本社 千108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

消防防災アンカーシステム(ローリー)は、セキュリティシステムです。

条の5第4項及び第5項、第24条の8並びに第24条の9)。

- 3. 積載式移動タンク貯蔵所(移動貯蔵タンクが国際海事機関が採択した危険物の運送に関する規程に定める基準に適合するもの)の構造設備明細書を追加すること(規則別記様式第4のトの2)。

第3 給油取扱所に関する事項

- 1. 固定給油設備等の構造について、火花を発生お

それのある機械器具を設ける部分は、可燃性蒸気が流入しない構造とすること(規則第25条の2第5号)。

- 2. 洗濯機の位置の基準について、道路境界線からの距離を不要とすること(規則第25条の5第2項第1号口)。

第4 施行期日

平成13年5月1

府下消防関係人事異動

4月に発令されました大阪府及び府下各消防本部の消防長並びに主な予防・危険物関係人事異動は次のとおりです。

- 大阪府(総務部防災室関係)
 - ▷防災室長 梶征一(関西国際空港理事)
 - [退職] 梶野正蔵(防災室長)
- 大阪市消防局
 - ▷予防部長 五味淳(救急救助担当部長)▷警防部計画情報課長 野田重良(危険物課長)▷予防部設備保安課長 田中賢治(大阪市消防振興協会総務部参事)▷予防部企画主幹 坂平哲也(経済局経済企画部参事)
 - [退職] 原田勝正(予防部長)、田淵精一(予防部予防課長代理)、古家泰三(予防部危険物課長代理)
- 堺市高石市消防組合消防本部
 - ▷予防部次長兼危険物課長、辻畑徹夫(浜寺消防署長)▷高石消防署長 古川清之(予防部次長兼危険物課長)▷泉北消防署長 仲尾幸信(予防部指導査察課長)▷予防部予防課長 高木賢慈(予防部予防課参事)▷予防部予防課参事 深井善明(高石消防署予防課長)▷予防部指導査察課長 西本義美(予防

部予防課長)

- 枚方寝屋川消防組合消防本部
 - ▷消防長 渡会 廣(消防本部次長)▷枚方消防署副署長 中山和男(予防部次長)▷予防部副参事 三田悟(総務部副参事)
 - [退職] 長谷川庫司(消防長)
- 東大阪市消防局
 - ▷消防局参事(予防広報課長事務取扱) 東口日出男(予防広報課長)▷中消防署副署長 中橋昌治(予防広報課主幹)▷予防広報課主幹 杉田隆男(予防広報課長代理)▷東消防署司令長 林忠彦(予防広報課長代理)
- 豊中市消防本部
 - ▷消防長 中村清(消防本部次長)▷南消防署長 脇康清(予防課長)▷予防課長 辻幸雄(警防課長)
 - [退職] 木村俊郎(消防長)
- 吹田市消防本部
 - ▷消防本部次長 廣瀬茂(予防課長)▷予防課長 清家栄次(予防課長代理)▷予防課長代理 村上博之(東消防署警備第2係長)
- 高槻市消防本部
 - ▷中消防署副署長 島上亘司(予防課長)▷予防課長 浅野文雄(北消防署第一課長)



HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒137-1122 本町南2丁目1番10号 TEL. 0372-656-1261
東京本社 〒102-0212 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL. 03-3249-4841

原点はロスフリーペンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

頑固な夢がある。
そこにこそある。

■ 八尾市消防本部

▷消防長 松倉正能 (消防本部次長) ▷消防本部次長 中瀬和行 (予防課長) ▷予防課長 山野晃 (警防課長)

[退職] 南政弘 (消防長)

■ 岸和田市消防本部

▷消防長 永橋英志 (消防本部次長)

[退職] 永野健一 (消防長)

■ 富田林消防本部

▷消防長 鎌谷健二 (理事) ▷消防本部付嘱託 北浦忠 (消防長)

■ 箕面市消防本部

▷消防長 高崎和男 (総務次長) ▷市役所出向 木村忠利 (消防長) ▷予防課長 東孝 (予防課長補佐)

▷予防課長代理 田仲勝 (予防査祭担当総括主査)

■ 池田市消防本部

▷消防長 落合郁男 (消防本部次長)

[退職] 及一大八 (消防長)

■ 貝塚市消防本部

▷消防長 山本昌弘 (消防本部次長兼署長) ▷予防課長 山本但廣 (警備課長補佐)

[退職] 高浦弘志 (消防長)

■ 泉南市消防本部

▷消防次長 西川勝文 (総務課長)

[退職] 堀越正 (消防本部次長)

■ 四条畷市消防本部

▷消防長 植田隆 (消防本部次長兼署長)

[退職] 合川勝 (消防長)

■ 忠岡町消防本部

▷消防長 花野政昭 (総務課長)

[退職] 藤田繁 (消防長)

阪南岬消防組合、業務開始!



岬町に新設された岬消防署

阪南岬消防組合の構成市町となる阪南市は昭和52年度より阪南市消防本部を発足し消防業務を実施しており、また、岬町については同じく昭和52年度より岬町役場に消防防災課を設け、救急業務をそれぞれ実施してきましたが、大阪府消防広域化基本計画推進のもと、消防力の充実強化と消防業務の効率化を図るため消防組合を設置し、消防事務を共同で処理するため、平成8年に阪南市・岬町消防広域化推進協議会を発足し協議検討を重ね、平成12年4月1日知事の許可を受け、いよいよ今年4月1日より阪南岬消防組合の消防業務が開始しました。

当消防組合は、本部・阪南消防署 (現阪南市消防本部)、岬消防署 (岬町深日に新設) の1本部2署、署員96名体制で住民約8万人の生命、身体、財産を災害から守るため、迅速で柔軟な消防業務の遂行に努め、「災害のない安全な街づくり」を目指します。

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(6358)9467 (代表)

株式会社技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎6358-9467-8

安全への道

「危険の直視」

三村和男

核燃料加工工場の臨界事故（1999年）、加工乳による集団食中毒事故（2000年）は、あまりにも危険を軽視して来た結果起きた事故であり、社会的に重大な影響と不安を与えた。事故後、管理の実態が明らかになるにつれ愕然とした。臨界の危険を理解しない（させていない）まま、裏マニュアルで取り扱っていた（させていた）のであるから臨界事故が起きてても不思議ではない。また、食中毒菌の発生を防止する温度管理等が不十分であれば菌は発生するだろう。

安全を確保するには、第一に潜在危険（物質・設備・環境・作業・人・管理に存在する危険）の追究とその評価を行い、危険を正しく理解、認識すること、第二は、危険の程度に応じた適切な対策をとること、さらに第三として対策機能を正常に維持管理すること、この三つが重要であり、これができなければ安全は確保できない。

人と管理に関わる危険については、近年、生産技術、体制の変化に伴ない、関心と重要性が高まっている。

しかし実態は思うほどに進んでいないように思う。言うまでもなく、技術、運転の高度化、少人化の徹底により生産システムが複雑化しているため、広い知識と技術と多能化が要求されている。従ってミスが起きやすく、また小さなミスが重大な事故・災害につながる危険が増大しているため、人、管理の危険を重視しなければならない背景がそこにある。

人間が誤りを犯かすことは、今からおよそ1600年も前に「誤りは人の常」といった神学者がいるといわれている。文明の進んだ今日でも全く同じである。人間は常に新しい技術と物づくりに挑戦し、今日の文明社会を築いてきた素晴らしい面がある一方、誤りを犯かすことから逃れられない宿命的な弱点（危険）を持っている。ヒューマンエラーは人間の陥る危険である。最近では、安全技術も進歩し、設備の故障および誤操作があっても事故、災害につながらないよう設備の本質安全化が進んでいる。ところが人間は賢い。安全装置があるために作業がしにくいとなると、自分が作業しやすいよう勝手に安全機能を殺してしまう。それを防

止する工夫が必要であり、そんなに難しいことではないだろう。また、エラーを誘発させない設備の設計技術の向上と設計者の人間工学的設計センスを期待したい。

管理について考えてみよう。先述した重大事故では、いずれも安全に必要な設備、作業基準は、作られていたが、守られていなかった。そこが問題である。

加工乳食中毒事故のあと、我が地元の保健所に行つてHACCP（危険分析重要管理方式）その他諸基準を見た。膨大なもので内容まで理解はできないが、よくできている。何時も考えることであるが、基準を作ることと、それを遵守する、させることは別である。作っても遵守しなければ意味がない。遵守させるには、作るより遙かに大きなエネルギーが必要である。

災害想定について考えてみよう。懸念される事故、災害は、必ず何時かは「起こる」と考え、かつ最悪の事態を想定しておくことが重要である。自然災害を含め、最近の重大災害では安易に想定外だったとされるものが多い。現状の科学、技術レベルからは全く想定が不可能なことと、考えたけれども結果的に無視し、想定することを避けてしまった二つのケースがあるが、この点がいまいである。最悪事態への対応は、ハード、ソフト両面について考えねばならない。臨界事故の場合は、想定外の事態が発生したため、臨界停止の処置、被害者の救援、地域への広報に大きな混乱を来したことは未だ記憶に新しい。

安全の考え方について、国際原子力機関事務局長のハンス・ブリック氏は次のように述べている。「安全は、潜在危険を認識した者によって担当されてはじめてかろうじて保てるのであり、安全だと思ひ込んで人が担当すれば、危険が高まる」。筆者流に言えば「安全は見えるが危険が見えない」では安全は確保できない。危険を正しく理解、認識していなければ、より安全への意欲も積極的な行動も生まれてこない。あくなき危険の追究に真摯な努力を切望する。

プロフィール

三村 和男氏



- ・茨木市在住
- ・株東レ経営研究所 特別研究員
（財）大阪府危険物安全協会 専任講師
- ・防災安全に関する教育・講演活動

危険物取扱者準備講習 ご案内

平成13年度第1回危険物取扱者試験実施に際し、受験者予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種 別	講 習 日	時 間	会 場
甲 種	5月22日(火)、5月28日(月)、5月30日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅17号出口スグ)
乙 種 4 類	1コース	5月21日(月)、5月22日(火)	9時30分～16時 大阪府商工会館
	2コース	5月28日(月)、5月29日(火)	9時30分～16時 大阪府商工会館
	3コース	6月7日(木)、6月8日(金)	9時30分～16時 大阪府商工会館
	4コース	5月23日(水)、5月24日(木)	10時～16時30分 堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	5コース	5月29日(火)、5月30日(水)	10時～16時30分 泉大津市民会館 (南海本線泉大津駅ヨリ約10分)
	6コース	5月24日(木)、5月25日(金)	9時30分～16時 茨木商工会議所 (JR・阪急茨木駅ヨリ約13分)
	7コース	5月17日(木)、5月18日(金)	10時～16時30分 守口市民会館 (地下鉄守口駅スグ、京阪守口駅ヨリ5分)
	土曜コース	5月19日(土)、5月26日(土)	9時30分～16時30分 大阪府商工会館
	日曜コース	5月13日(日)、5月27日(日)	9時30分～16時30分 大阪科学技術センター (地下鉄・四ツ橋線本町駅ヨリ5分)
丙 種	5月31日(木)	9時30分～16時30分	大阪府商工会館

(注)甲種は3日間で、乙種(1期～7期)と土曜・日曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の受付数を割当していますので、満席の際は受付できませんからご了承下さい。
- ③ 申込手続きは代理でも結構です。

受 付 場 所	日 時
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅ヨリ西へ10分)	岸和田市火災予防協会 4月23日(月) 午後1:30～4:00
東大阪市西消防署内 (近鉄・河内小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協会の会 4月24日(火) 午前10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口・門真防火協会 4月24日(火) 午後2:00～4:00
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅南へ5分)	豊中防火安全協会 4月25日(水) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 (JR・阪急茨木駅ヨリ約13分)	茨木市災害予防協会 4月25日(水) 午後2:00～4:00
泉大津市消防本部内 (南海・泉大津駅北へ8分)	泉大津市火災予防協会 4月26日(木) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内(南海・淡路駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会 4月26日(木) 午後2:00～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会 4月27日(金) 3日間とも 5月7日(月) 午前9:30～午後4:30 5月8日(火) (ただし、正午から40分間休館)

3. 日曜・土曜コースの申込方法

日曜コース(定員140名)、土曜コース(定員140名)は電話(06-6531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会 費

会費には、各テキスト代を含みます。(テキストは平成13年度用改訂版を使用)

種 別	会 員	会 員 外
甲 種	16,800円	18,900円
乙 種 4 類	12,600円	14,700円
乙種(土曜コース)	13,650円	15,750円
乙種(日曜コース)	14,700円	16,800円
丙 種	6,300円	7,350円

(注)消費税込の料金です。